

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~7日	4月 ~14日	4月 ~21日	4月 ~28日	5月 ~5日	5月 ~12日	5月 ~19日	5月 ~26日	6月 ~2日	6月 ~9日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	17	21	18	9	8	26	21	32	0 (17)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	19	13	20	17	7	17	12	15	15	11
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	0	1	1	4	0	1	1	1	3	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	3	5	3	2	0	4	3	7	1	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	3	6	3	2	1	5	1	4	3	1
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	0	4	4	1	0	2	1	1	0	1
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	2	3	2	4	0	1	1	0	2	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第23週(6月3日~6月9日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11		2	2	1	2	4	
三類	0	発生なし	0							
四類	1	日本紅斑熱	1			1				
五類全数	19	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1			
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		水痘(入院例)	1					1		
		梅毒	3					3		
		百日咳	7	3				4		
麻疹	4		2				2			

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

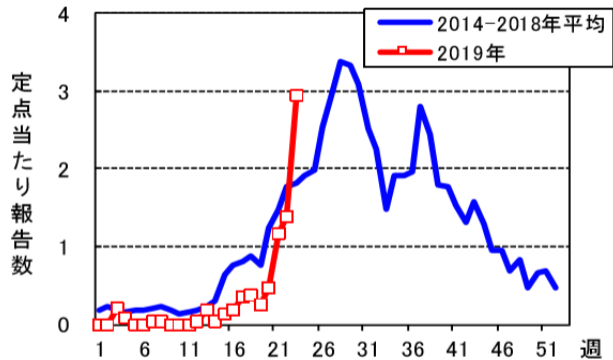
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第23週 6/3～6/9)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

手足口病の流行状況



【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&A」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>

1. 手足口病

定点当たり2.96人と、前週の約2.1倍に増加しました。手足口病は、口の中や手足などに水疱性の発しんが出るウイルス性の感染症です。この疾患にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育園や幼稚園などでは、特に注意が必要です。

2. 麻しん

麻しん患者の報告が2件あり、今年の累計は3件となりました。麻しんの感染予防には、ワクチン接種が最も有効です。定期接種対象の方(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)は早めに接種しましょう。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	1	0.03	0.06			小児科	流行性耳下腺炎	8	0.35	0.68		
小児科	咽頭結膜熱	16	0.70	0.75			眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.13		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.22	3.48				急性出血性結膜炎	-	-	0.08		
	感染性胃腸炎	175	7.61	7.36				流行性角結膜炎	3	0.38	1.38		
	水痘	3	0.13	0.63			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	68	2.96	1.81				無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	伝染性紅斑	6	0.26	0.33				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26		
	突発性発しん	10	0.43	0.43				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03		
	ヘルパンギーナ	24	1.04	0.77				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09		

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↕ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇔ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	71	女性(60歳代)、女性(90歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	5	女性(30歳代)・B型
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	女性(90歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	21	男性(30歳代)
5	水痘(入院例)	1	1	女性(70歳代)
5	梅毒	3	41	男性(20歳代)、男性(40歳代)、女性(40歳代)
5	麻しん	2	3	男性(30歳代)、男性(40歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 上気道炎	1 女	2019/04/06	糞便	パレコウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎	0 男	2019/04/17	鼻汁	パレコウイルス3型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 上気道炎	0 男	2019/04/19	咽頭拭い液 髄液	ライノウイルス パレコウイルス3型
その他の発疹性疾患	発熱(37.7) 丘疹 鼻炎	0 男	2019/04/23	咽頭拭い液	ヒトホカウイルス
その他の疾患	発熱(40.4) 嘔吐下痢 腹痛 肝機能障害 腎機能障害 項部硬直 リンパ節腫脹 蛋白尿 頭痛 関節痛 筋肉痛	12 女	2019/04/17	咽頭拭い液	ヒトコロナウイルスHKU1

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載